

北陸新幹線を活かしたまちづくりを考える市民集会 「2020新幹線講座」を開催しました

令和2年2月8日、中央公民館におきまして都市計画・交通計画を専門とされ、北陸地域各市町のまちづくりや交通プロジェクトに携わっておられる「福井大学名誉教授の川上洋司氏」をお招きし、講演会を行いました。

また、事務局から新まちづくり構想(案)の概要について説明させていただきました。

市内外から110名を超える会場に入りきらないほど多くの方にお集まりいただき、参加者からは新幹線で広がる可能性に期待する声や、二次交通の充実についての要望など多くの意見が出され、新幹線を活かしたまちづくりに対する強い期待を感じました。

【講演概要】

『持続可能な観光まちづくりの重要性』

リーダー(住民主体)の存在・新しい資源の発見と創造・長時間の尺度で考えることの3点が不可欠である。

『どう感動をつくり出すかが、まちづくりの出発点』

住民の生活文化・地域資源の磨き上げ、来訪者の絞り込みにより好循環が生み出せる。

『地域資源にアクセスする交通網が必要』

小浜線を軸に考えることが重要である。



110名超の方が参加した2020新幹線講座

【意見交換・アンケート結果】

- ・北陸新幹線全線開業により、住む人にとっては都会に通学できるなど、選択肢が増えると良い。
- ・先を見据えたまちづくりはとても良い。地元の方がより暮らしやすくなるよう、いろいろな人々のアイデアなどを聴くと良い。
- ・新幹線から降りたあとの小浜線やバスなどの交通手段の確保は大切である。
- ・小浜の自然を守りつつ、先端技術を融合することで、地方であってもデメリットは感じない。